



第 3 章

- みどりの基本理念等 -

- 第 1 節 みどりの基本理念
- 第 2 節 みどりの将来像
- 第 3 節 みどりの基本方針
- 第 4 節 みどりの目標
- 第 5 節 施策体系
- 第 6 節 具体的な施策
- 第 7 節 都市公園などの整備と管理の方針
- 第 8 節 緑化重点地区の方針

第3章 みどりの基本理念等

第1節 みどりの基本理念

本市は、歴史・文化と水・みどりが調和する、魅力あふれるまちです。これらの誇りある風土は先人の営みの成果であり、次世代へ継承することは私たちの責務です。また、私たちの暮らしにゆとりをもたらす「みどり」をさらに磨き上げる必要があります。

本市を取り巻く社会は、少子・高齢化の進展、ライフスタイルの多様化など大きな転換点にあります。地球温暖化や生物多様性の損失など地球規模の課題への市民意識も年々高まっています。

こうした状況を踏まえ、前計画の基本理念である「市民が誇れる風格とゆとりのあるみどり」を継承し、第4次総合計画の将来像「住みたい 住みつけたい 悠久の都 長岡京」と都市計画マスタープランの都市づくりの理念「～訪れたい、住みたい、住み続けたい～みどり・歴史・ひとの織りなすにぎわいとうるおいの 長岡京」を包含した『風格とゆとりある みどりが彩る 悠久の都 長岡京』を新たな基本理念として掲げます。

風格とゆとりある みどりが彩る 悠久の都 長岡京



長岡天満宮八条ヶ池

第2節 みどりの将来像

本市の目指すべきみどりの姿について、長岡京らしいみどりをはじめとしたみどりの拠点や、街路樹などの主要道路のみどりのネットワーク、小畑川や小泉川の水辺のネットワーク、さらに農地や山林の面的なみどりで構成される「みどりの将来像」として示します。

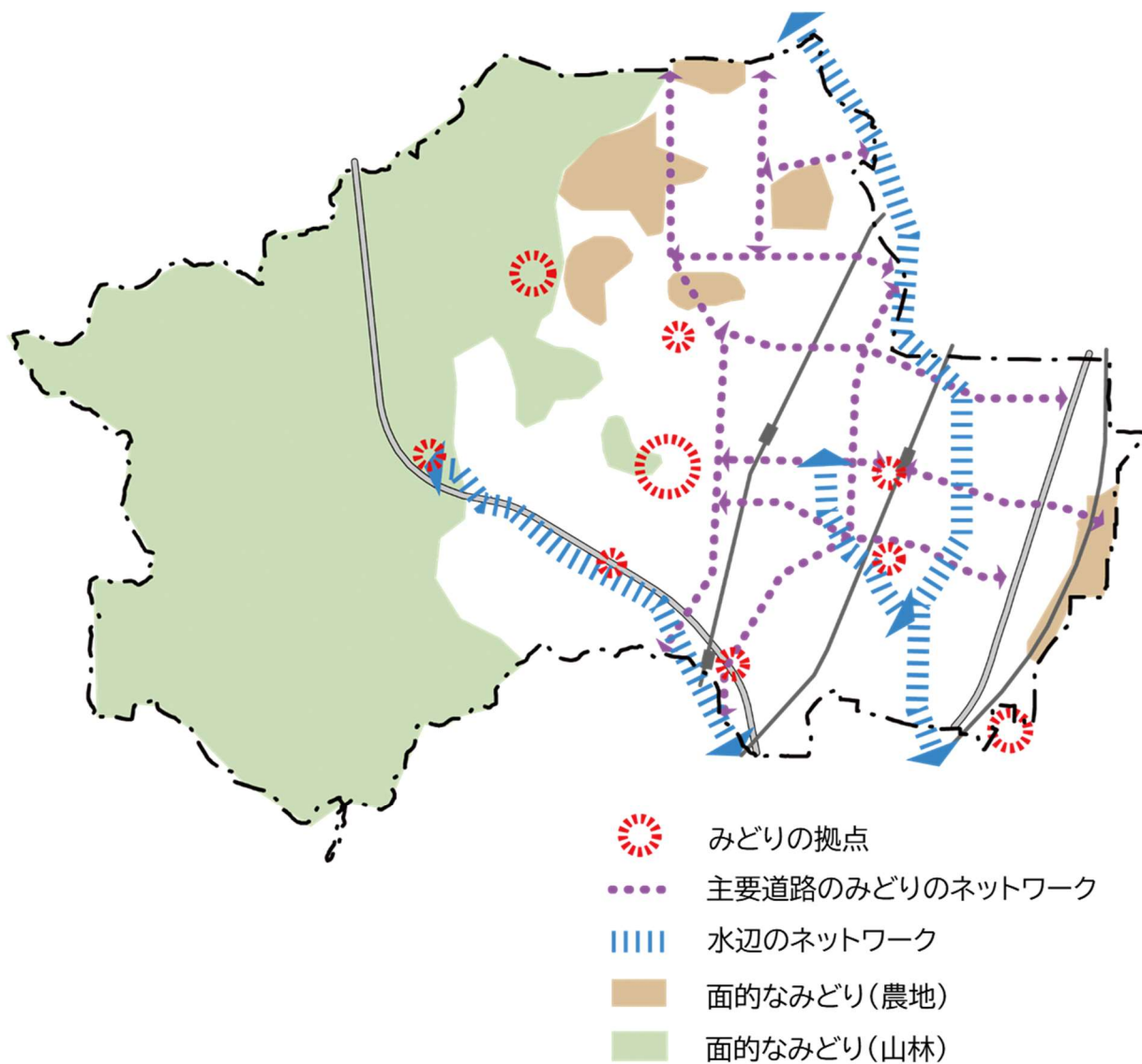


図3-2-1 みどりの将来像

第3節 みどりの基本方針

1. みどりの基本方針

本市のみどりの課題、みどりに関する市民意識や上位計画等を踏まえ、次のとおり、4つの基本方針を設定しました。

「長岡京らしいみどり」を守ります

西山や長岡天満宮などの社寺林、恵解山古墳公園などの史跡・歴史公園など、「長岡京らしいみどり」をこれからも守っていきます。

魅力のあるみどりを増やします

社会情勢の変化や市民ニーズの多様化など、新しい時代に対応した魅力のある公園にしていきます。

まちなかのみどりを創り、活かします

まちなかのみどりについて、市民等の協力のもと、緑化を進めていきます。

共創により、みどりを守り、育みます

多様な主体が連携し、みどりを保全し、次世代へ引き継いでいきます。

2. みどりの配置方針

都市の緑地は多面的な機能を有しており、その機能に応じて配置方針を定めることで、各緑地が密接な関連をもって都市全体で有機的に機能することができます。

本計画における基本理念「風格とゆとりある みどりが彩る 悠久の都 長岡京」の実現にあたっては、長岡京らしい風致の保全・育成や、防災や環境、日常的な生活面でのみどりとの共存・共生が重要となることから、次の4つの機能の視点から配置方針を定めます。

4つの機能・配置方針

長岡京らしいみどり	長岡京市が大切に育んできた歴史・文化や自然環境を感じられるみどりを守り育てるため、その配置の方針を示します。
まちの防災に資するみどり	激甚化・頻発化する都市災害に備え、グリーンインフラとして効果的に機能するみどりの配置の方針を示します。
環境保全に寄与するみどり	人と自然が共に暮らせる環境づくりに向けて、人と自然の双方にとって豊かで暮らしやすい環境をつくるみどりの配置の方針を示します。
暮らしの活動に寄り添うみどり	レクリエーションや産業などでのみどりの活用を通じ、地域の課題解決や活性化につながるみどりの配置の方針を示します。

① 長岡京らしいみどりの配置方針

■配置の骨格

-  背景のシンボルである西山
-  歴史的な街道
-  歴史的資源が核となるみどり
-  保存樹木・天然記念物

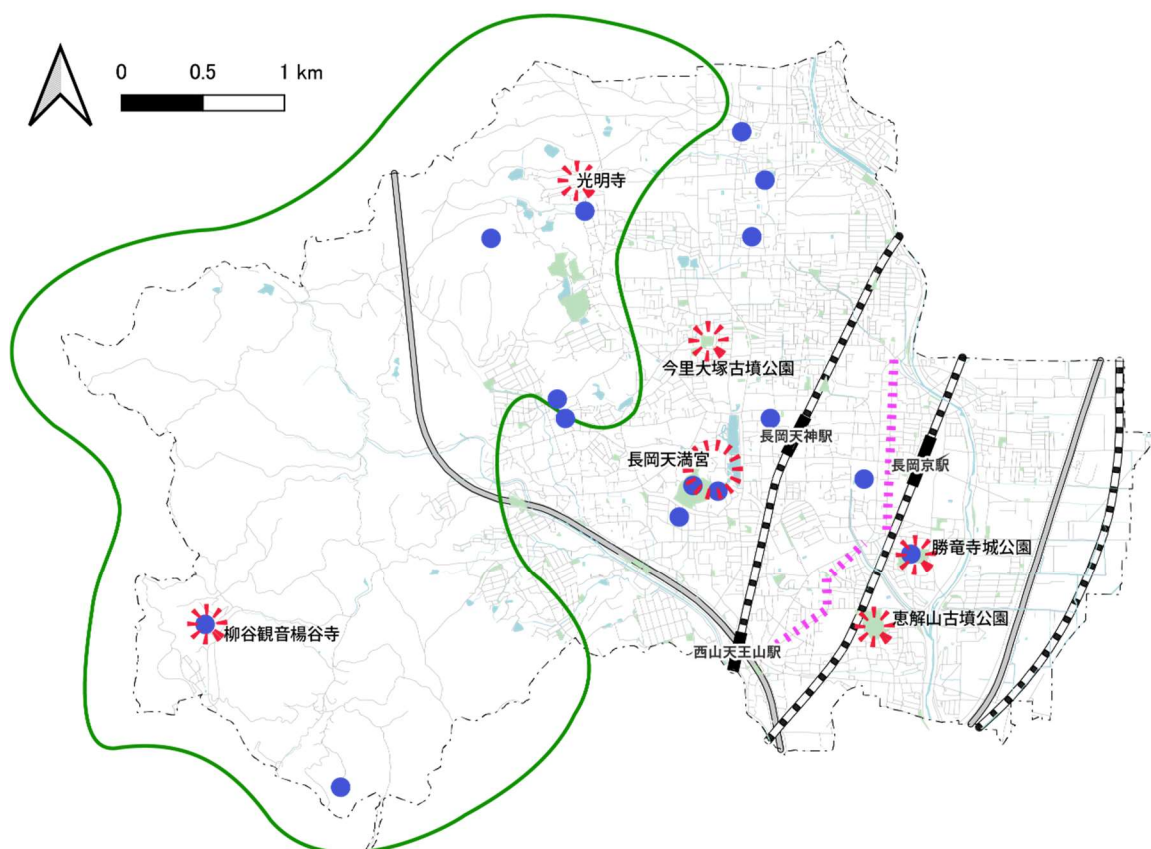


図3-3-1 長岡京らしいみどりの配置方針図

長岡京らしいみどりの配置方針

【配置の骨格】

背景のシンボルである西山	西山は市内の多くの場所から望むことができ、長岡京らしい景観を形づくる重要な要素であるため、その保全を図ります。
歴史的な街道	長岡京市景観計画(2018(平成30)年12月)で旧街道軸として位置付けられる西国街道については、良好な景観形成を誘導します。
歴史的資源が核となるみどり	長岡天満宮などの社寺林は、本市を象徴する貴重なみどりであり、その保全と活用を図ります。また、歴史的資源を基盤とする公園についても、歴史的風致の保全と活用を図ります。
保存樹木・天然記念物	保存樹木や天然記念物は、本市の風土に根差した重要なみどりであり、その保全を図ります。

② まちの防災に資するみどりの配置方針

■配置の骨格

- 適切に管理された山林
- 遊水・浸水機能を有する郊外のまとまった農地
- 遊水・浸水機能を有する市街地の農地
- |||| 延焼防止機能のある水辺のネットワーク
- 延焼防止機能のある主要道路のみどりのネットワーク
- 防災機能の位置付けのあるみどり

■骨格が十分に機能を発揮するうえで重要となるエリア

- 山麓として治山対策が重要となるエリア
- 浸透機能のある緑の確保が重要となるエリア
- 遊水機能のある緑の保全が重要となるエリア
- 緑化重点地区

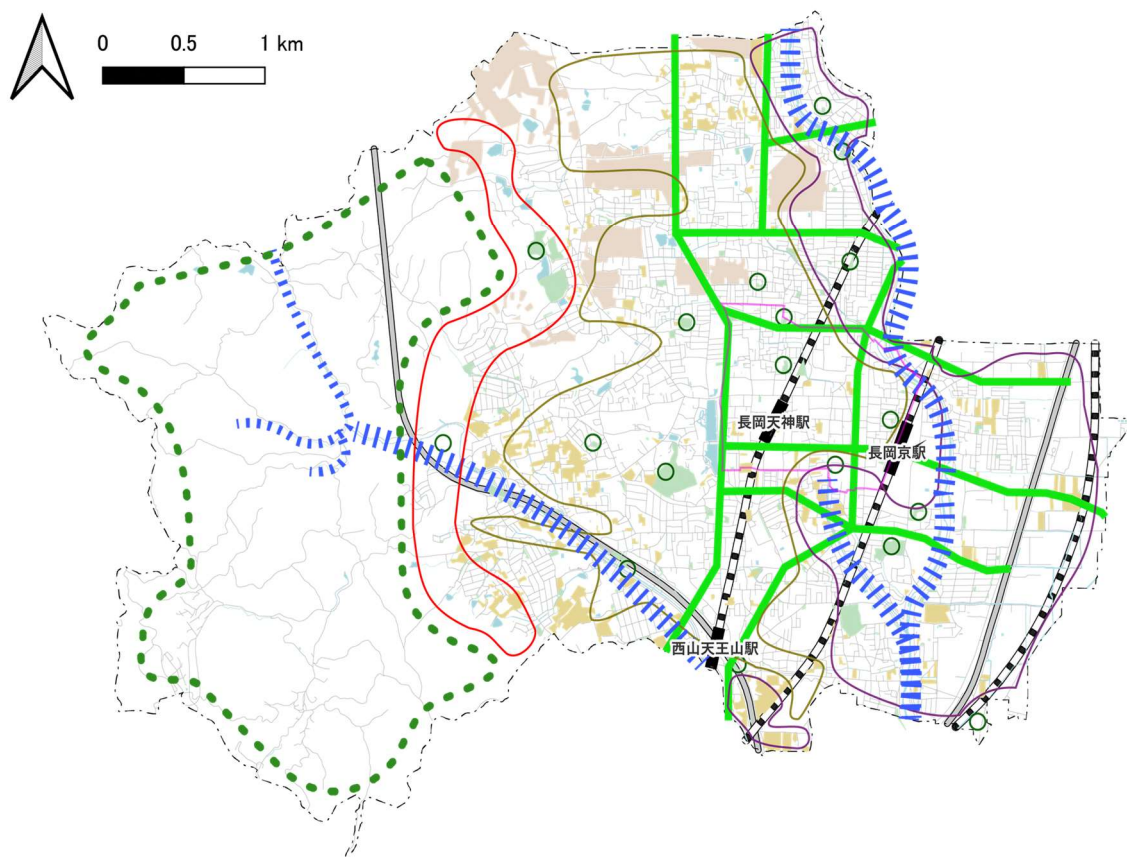


図3-3-2 まちの防災に資するみどりの配置方針図

まちの防災に資するみどりの配置方針

【配置の骨格】

適切に管理された山林	保安林や地域森林計画対象民有林などの山林を適切に保全し、土砂災害などの発生抑制を図ります。
遊水・浸水機能を有する郊外のまとまった農地	市街地周辺に広がる大規模な農地は、水害時に遊水・浸水機能を発揮するため、その保全を図ります。
遊水・浸水機能を有する市街地の農地	市街地内に点在する小規模な農地は、水害時に下水道や河川への流入量を調整する役割を持つため、その保全を図ります。
延焼防止機能のある水辺のネットワーク	河川空間は火災発生時に延焼防止帯としての機能するため、その保全を図ります。
延焼防止機能のある主要道路のみどりのネットワーク	街路樹帯は火災発生時に延焼防止帯として機能するため、その整備と適切な維持管理を進めます。
防災機能の位置付けのあるみどり	長岡京市地域防災計画において位置付けのある公園については、その防災機能の維持を図ります。

【骨格が十分に機能するうえで重要となるエリア】

山麓として治山対策が重要となるエリア	西山と市街地の境界付近に位置する山麓は、防災上とくに重要な地域であるため、土砂災害の発生抑制に向けた治山対策を推進します。
浸透機能のあるみどりの確保が重要となるエリア	浸水のおそれが高い地域(高台)では、水害時に氾濫した水を一時的に貯められるみどりが重要となるため、その配置を図ります。
遊水機能のあるみどりの保全が重要となるエリア	浸水のおそれが高い地域(低地)では、水害時に河川や下水道へ流れ込む水量を調節するみどりが重要となるため、その配置を図ります。
緑化重点地区	緑化重点地区は、市役所をはじめ避難所などの災害時に重要となる拠点多く、人口も多い地域であることから、特に重点的にみどりの配置を図ります。

③ 環境保全に寄与するみどりの配置方針

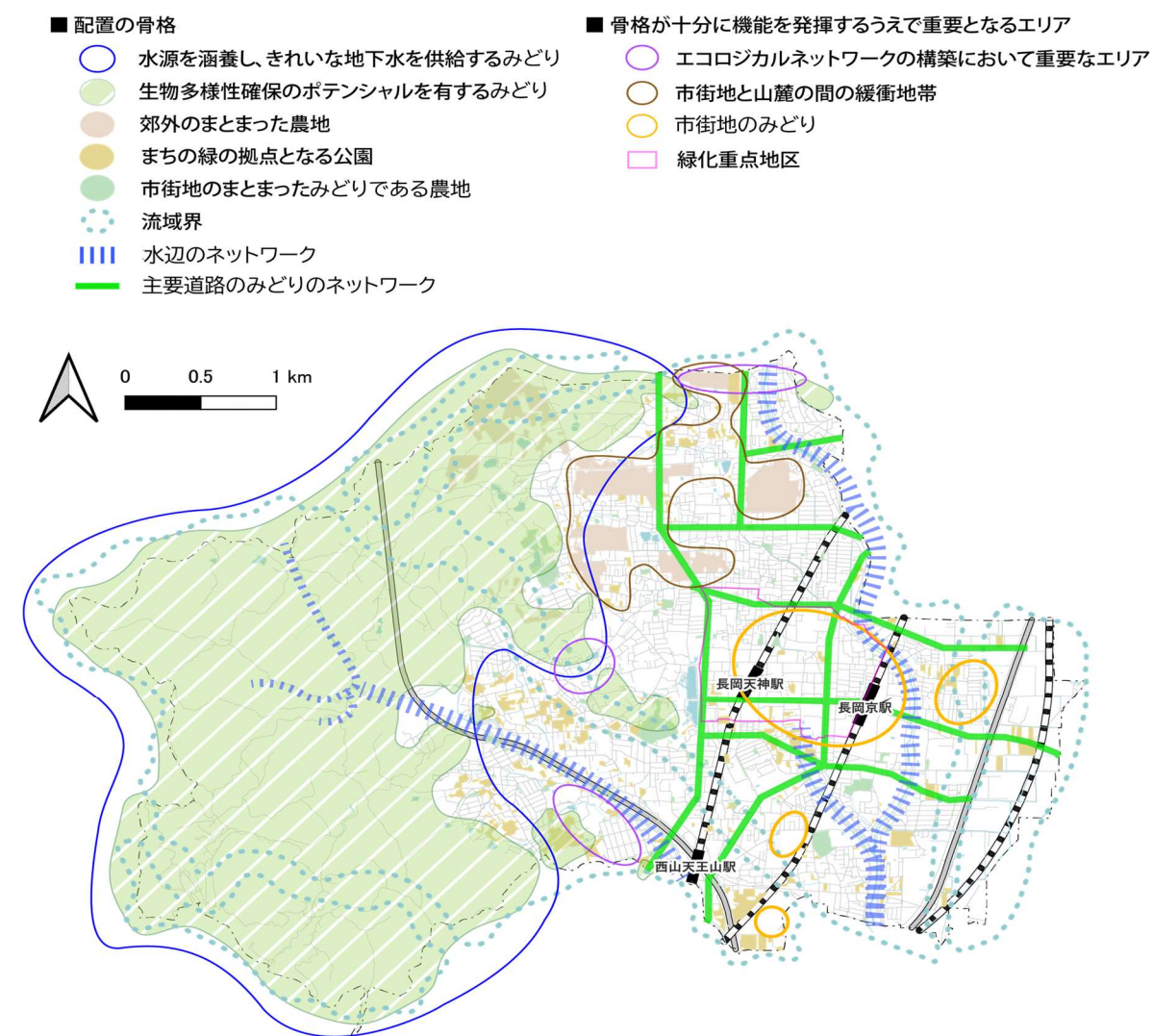


図3-3-3 環境保全に寄与するみどりの配置方針図

環境保全に寄与するみどりの配置方針

【配置の骨格】

水源を涵養し、きれいな地下水を供給するみどり	西山は、雨水を地下に蓄えて自然浄化し河川へ供給するとともに、夏季には冷涼な空気の流れを生むことから、その保全を図ります。
生物多様性確保のポテンシャルを有するみどり	樹林地の豊かな植物相は生物多様性を高め、市内のエコロジカルネットワークの基点となるため、その保全を図ります。
郊外のまとまった農地	市街地周辺に広がる農地は、生き物の貴重な生息の場であるとともに、都市と自然の緩衝帯となることから、その保全を図ります。
まちのみどりの拠点となる公園	公園は都市における貴重なオープンスペースとして居住環境の向上に寄与するため、その保全を図ります。
市街地のまとまったみどりである農地	市街地内の小規模農地は、生き物の拠点であるとともに、自然的土地利用としてヒートアイランド現象の緩和に寄与するため、その保全を図ります。
流域界	流域ごとに水質や植生が異なるため、それぞれの特性に応じた樹木の選定に配慮します。
水辺のネットワーク	河川は連続したみどりの空間として環境への影響が大きいいため、水質の維持と河川空間の適切な維持管理を推進します。
主要道路のみどりのネットワーク	街路樹は生き物の移動経路として機能し、夏季には枝葉が日陰をつくるなど快適な歩行環境に寄与するため、その整備と適切な維持管理を推進します。

【骨格が十分に機能するうえで重要となるエリア】

エコロジカルネットワークの構築において重要なエリア	エコロジカルネットワークの基点同士の間中に位置し、みどりが生まれることでネットワークの拡大が期待されるエリアについては、みどりの保全や創出を誘導します。
市街地と山麓の間の緩衝地帯	市街地と山麓の間にある地域は、みどりが存在することで市街地中心部の環境向上が期待されるため、大規模農地などの保全を推進します。
市街地のみどり	市街地に中心部は、建物や舗装が多く地面が熱をもちやすいため、みどりの保全や創出によってヒートアイランド現象の緩和を図ります。
緑化重点地区	緑化重点地区は人口が多く、みどりを整備することで多くの人が恩恵を受ける地域であることから、みどりの保全や創出を重点的に図ります。

④ 暮らしの活動に寄り添うみどりの配置方針

■配置の骨格

-  西山のみどり
-  農業のみどり
-  主要道路のみどりのネットワーク
-  レクリエーション活動の拠点
-  インクルーシブ公園

■骨格が十分に機能を発揮するうえで重要となるエリア

-  公園が多い地域
-  子どもが多い地域
-  高齢者が多い地域
-  緑化重点地区

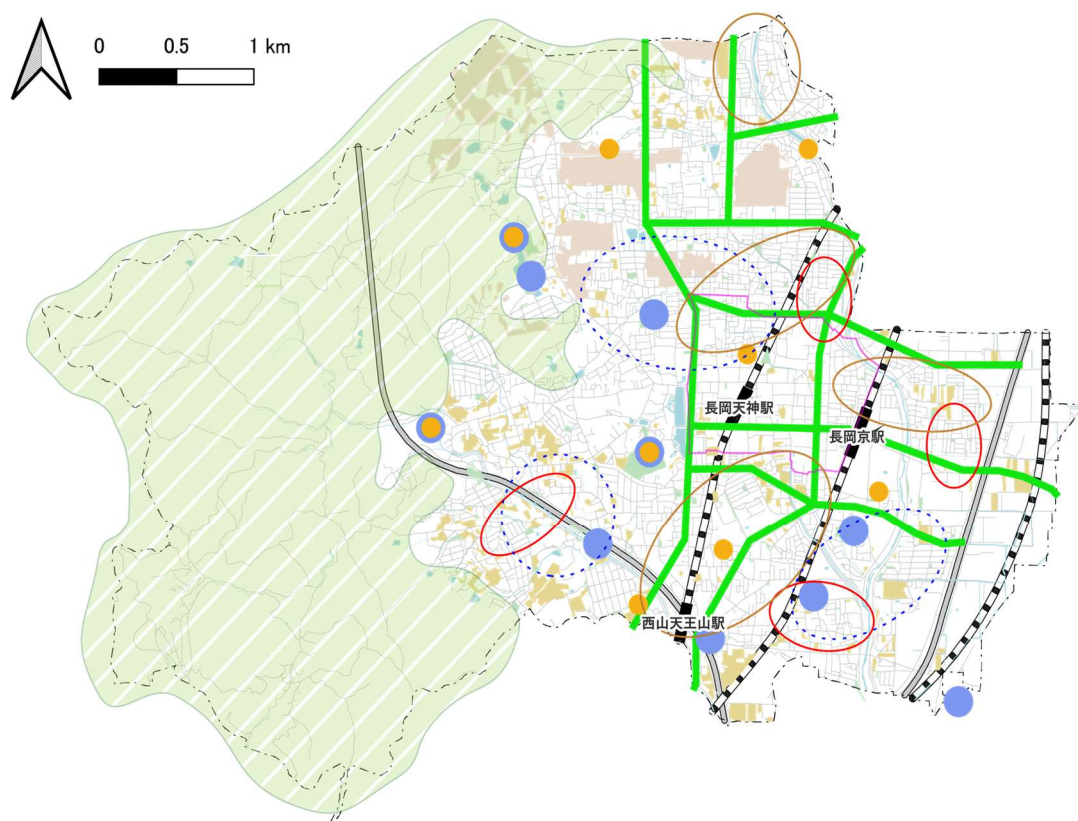


図3-3-4 暮らしの活動に寄り添うみどりの配置方針図

暮らしの活動に寄り添うみどりの配置方針

【配置の骨格】

西山のみどり	行政やボランティアによる森林整備が進められ、里山として活用されています。また、適切に管理された森林は地下水を蓄え、市内の飲料製造業の重要な水源となることから、その保全を図ります。
農業のみどり	市内では都市型農地で営農が行われており、これらの農地の保全を図ります。
主要道路のみどりのネットワーク	街路樹は歩行者と車の動線を分離し安全性を高めるほか、運転者の視線誘導にも寄与します。都市計画道路のうち存続する路線では緑化を推進し、これらの機能を強化します。
レクリエーション活動の拠点	主要な公園は、スポーツ施設や歴史・文化資源を有し、交流やコミュニティ形成の場となることから、これらの機能を活用します。
インクルーシブ公園	市域に偏りなくインクルーシブ公園を配置し、誰もが安心して訪れられる公園環境を整えます。

【骨格が十分に機能するうえで重要となるエリア】

公園が多い地域	複数の公園の利用圏域が重複する地域については、公園の統廃合や再編を検討します。
子どもが多い地域	子どもの多い地域では、子どもが利用しやすい公園の整備等を図ります。(配置方針図は 2020(令和2)年国勢調査の14歳以下人口分布を使用)
高齢者が多い地域	高齢者が多い地域では、高齢者が利用しやすい公園の整備等を図ります。(配置方針図は 2020(令和2)年国勢調査の65歳以上人口分布を使用)
緑化重点地区	緑化重点地区は人口が多く、みどりを整備することで多くの人が恩恵を受ける地域であることから、みどりの保全や創出を重点的に図ります。

第4節 みどりの目標

1. 計画フレーム

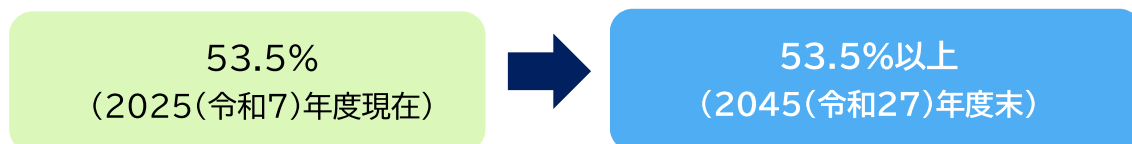
項目	年次	現況 2024(令和6)年	目標年次 2045(令和27)年
人口規模 長岡京市域 (市街化区域)		82,258人 (81,500人)	推計値 71,794人 (71,132人)
計画対象区域 都市計画区域 (市街化区域)		1,917ha (958ha)	推計値 1,917ha (958ha)

資料：人口実績値(国勢調査)／人口推計値(国立社会保障・人口問題研究所)
都市計画区域・市街化区域(令和6年都市計画現況調査)

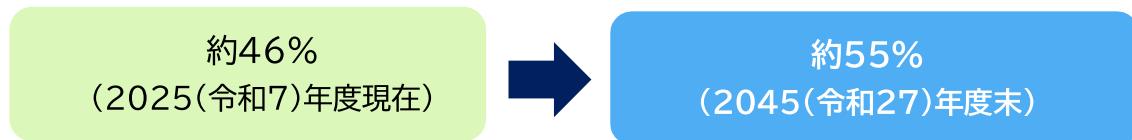
市街化区域内の人口推計値は、市域全域の推計値に2024(令和6)年4月の人口比率を乗じた。

2. みどりの目標

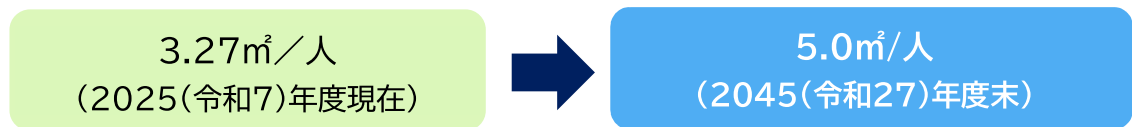
目標指標① 市域全体に対するみどりの割合(緑被率※¹)



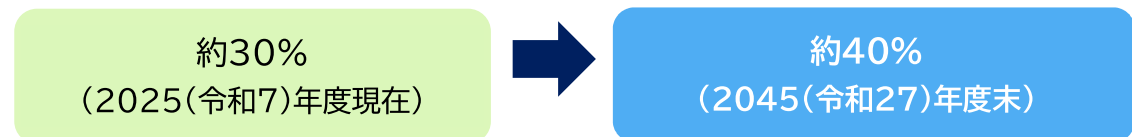
目標指標② 市民の「みどりの質※²」に対して満足している割合



目標指標③ 市民一人当たりの都市公園面積



目標指標④ 市民が月に一回以上、公園を利用する割合※³



※¹ 緑被率とは、樹木等で被われた土地の割合です。

※² 「みどりの質」とは、みどりによる景観、季節感、緑陰、維持管理などです。数値は市民アンケートで、「満足している」「どちらかといえば満足」と回答した方の割合です。

※³ 数値は市民アンケートで「月に1回」以上、公園を利用すると回答した方の割合です。